

TOPICS ①

長期にわたり厳しい制約下で工事完遂、JR東日本より感謝状

当社は25年もの長期にわたり、総武トンネル改良工事（1987年～2002年）、そして東京トンネル改良工事（2003年～2012年）を施工しました。狭隘なトンネル空間における終電から初電までの夜間短時間施工という厳しい制約のもとで、安全・安定輸送に万全を期して、施工方法の工夫やコストダウン等に取り組み、計画通りに工事を完遂させました。

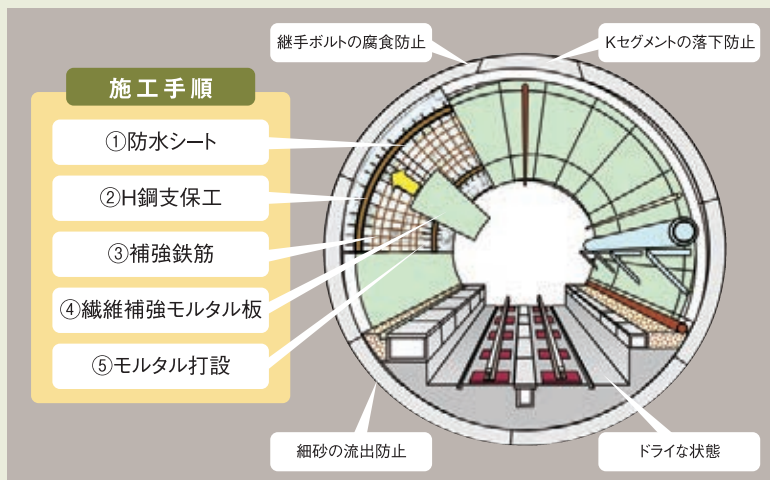
その成果が認められ、2012年12月26日、東日本旅客鉄道株式会社の富田哲郎社長より感謝状をいただきました。



JR東日本富田社長より山田社長へ感謝状授与

<当社山田社長のコメント>

厳しい制約条件のなか、創意工夫を重ね、品質・安全・工程・コスト面に細心の注意を払って工事を完遂できたことは、当社にとって誇らしい実績となった。当社は150年の歴史の中で、早くから鉄道工事に携わって来ており、これからも鉄道インフラの整備に貢献できるよう、『安全第一』・『高品質』の精神で尽力していきたい。



施工概要図

<総武・東京トンネル改良工事>

工事は、1973年に使用開始された総武本線の総武トンネル（東京・錦糸町間全長約3.3km）と、その後1976年に接続された横須賀線の東京トンネル（東京・品川間全長約6.2km）を、二次覆工による抜本的な改良を行ったものです。

両トンネルは、建設後に施行された東京都の地下水汲み上げ規制により、地下水位が大幅に上昇しトンネル内への漏水が増加したため、トンネル部材・架線・軌道材料の腐食・劣化等による輸送障害への対策として、改良工事が実施されました。



施工前



施工中



施工後